環境保全計画書　**ユニタイト株式会社**

①環境保全に関する基本方針(環境方針)

ユニタイト株式会社は、当社のねじ製品、および金属製品の設計、製造、販売活動が地球環境と密接に関わっていることを認識し、自然環境との調和と地域社会との共存のため以下の行動のもと事業活動を行なう。

(1)環境に関する法規制および要求事項を遵守し、地域・社会との調和と共存に配慮した営業・生産活動の導入に努める。

(2)資源・エネルギーの消費を少なくするとともに、再利用・再資源化に通じ、廃棄物排出量の削減に努め、環境の保全に取組む。

(3)定期的な環境マネジメントシステムの見直しを行い、継続的改善を図る。

②環境保全に関する組織の現況

当社における環境管理体制は図 1 のとおりである。
また，本社工場における環境管理体制は図 2 のとおりである。

図1　ユニタイト株式会社の環境管理体制

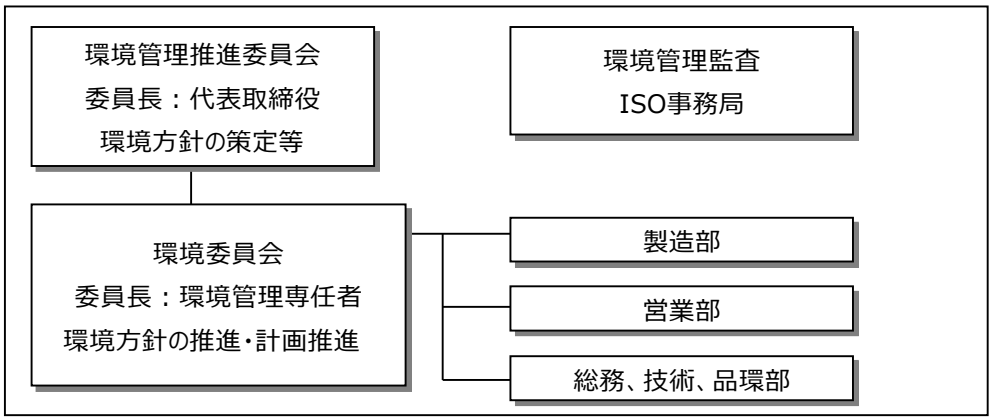
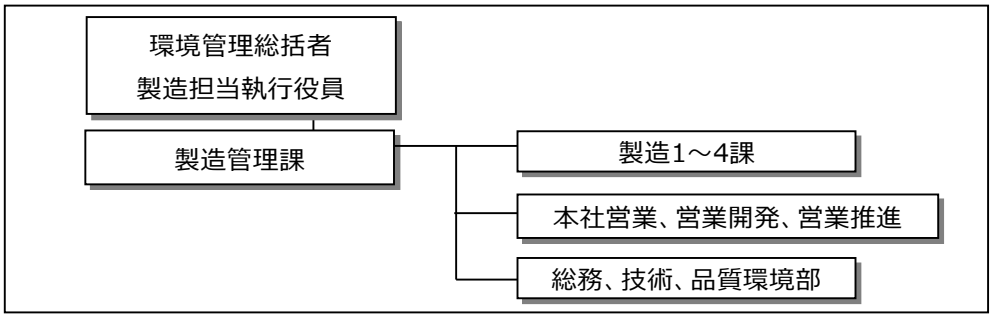


図2　本社工場環境管理体制



③重点取り組み目標・計画

【 2026 年度の重点目標・計画】

当社では事業活動の環境負荷低減を目指し、2026 年度は以下の重点課題に取り組んでいきます。

●工場廃棄物再資源化の継続向上

●省エネルギーの推進

＜目標＞ 燃料、電力の使用原単位を2013年度比で、 2026 年度中に
燃料で約 2% 、電力で -6% 削減します。

＜取り組み内容＞

・生産効率の改善
・動力インバーター化
・省エネ管理の徹底（加熱温度管理）
・節電の推進

●温室効果ガスの抑制

＜目標＞ 生産におけるCO2排出原単位を2013年度比で、 2026 年度中に
約 1.9% 削減します。

＜取り組み内容＞

・生産効率の改善
・高効率設備の導入
・運送効率の改善

●社用車の低公害化の推進

●環境管理システムの充実

ISO14001システムの定着、活性化

④公害防止対策に係る計画

ア. 目標及び管理目標値

	目標
騒音防止対策	◆「騒音規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。
振動防止対策	◆「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例） 」に定める基準を遵守する。
産業廃棄物対策	◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の法令の規制を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。 ◆廃棄物の発生量を抑制するともに、再利用を促進す

イ.目標達成のために講ずる処置・対策

○ 目標達成のために講ずる処置・対策（その1）

目標項目		目標達成のために講ずる措置 (目標の達成状況の確認手段を含む)
騒音防止対策	法令等の基準の遵守	◆法令等の基準遵守の確認に必要な測定・監視体制を定め、測定・監視を行う。 ◆基準を遵守するために必要な対策を講ずる。具体的には、発生源対策として、防音カバーの設置、吸音材の設置、低騒音型の施設への更新。
騒音防止対策	法令等の規制を遵守	◆法令等に定める産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守し、法定の記録・報告を実施する。
	廃棄物の発生抑制・再利用	◆産業廃棄物の再生利用、再資源化等の有効利用及び減量化に関する処理計画を策定し、必要に応じ市へ報告を行う。 ◆工程の見直しを行い、廃棄物の発生抑制・再利用を積極的に実施する。 ◆他の事業所(者)との連携を含め、ゼロエミッション構想の実現に向けた調査・研究を推進する。

⑤地球温暖化対策に係る計画

ア.前年度(2025 年度）の電気・燃料等の使用及び今年度 2026 年度）使用予定量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	単位発熱量	前年度（2025年度）使用量等	今年度（2026年度）使用量等	単位	排出係数	排出量（t-CO_2） 前年度（2025年度）（実績）	排出量（t-CO_2） 今年度（2026年度）（予定）
燃料の使用	原料炭	28.9				0.0867		
	一般炭	26.6			kg	0.0906		
	A 重油	39.1			ℓ	0.0693		
	B 重油	40.4			ℓ	0.0705		
	C 重油	41.7			ℓ	0.0716		
	LPG	50.2			kg	0.0598		
	都市ガス	45.0	[redacted]		千Nm3	2.1000	[redacted]	
	その他（廃棄物等）	42.3			kg	-		
電力事業者から供給された電気の使用					kWh	0.000332		
熱供給有事業者から供給された熱の使用					MJ	0.067		
合計							[redacted]	

イ.基準年度及び前年度の二酸化炭素排出量、今年度及び来年度の二酸化炭素の排出削減目標

（その他温室効果ガスが発生している場合はその排出量、排出削減目標も含む）

温室効果ガス t -CO_2	排出量 基準年度（2013年度）	排出量 前年度（2025年度）	削減目標 今年度（2026年度）	削減目標 来年度（2027年度）	削減率2013年度比（%） 昨年度（2024年度）	削減率2013年度比（%） 今年度（2025年度）
二酸化炭素	[redacted]				43.1	1.9
メタン						
一酸化二窒素						
HFC						
PFC						
六フッ化硫黄						
合計	[redacted]				-	-

ウ.目標達成のために講ずる処置・対策

処置の区分	具体的対策	削減目標
エネルギーの使用の合理化	集中生産の推進、生産効率の改善、加熱温度管理	燃料の使用に伴うCO_2排出量を昨年度に比べ、原単位で1%削減する。
	バーナーの整備、高効率設備の導入	
	冷却水装置のポンプ、高効率設備への更新	電力消費原単位を昨年度比1%削減する。（CO_2排出原単位1%削減）
	昼休みの一斉消灯	
鍛造工程における対策	製造工程における生産性の改善	CO_2排出原単位を昨年度比1%削減する
	熱間鍛造より冷間鍛造化の推進	
その他	CO_2排出係数の低い電力の選択	昨年度比1%以上削減

⑥公害防止対策及び地球温暖化対策意外の環境保全活動に係る計画

公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る目標、計画

(目標達成年次 2026 年度中)

	分野	項目		目標
1	事業所等での節水	節水		昨年度比1%減
2	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別回収		徹底
		コピー用紙の使用削減、インボイス制度の導入		昨年度比10%減
		ミスコピー用紙の再利用		徹底
		廃棄物発生量の削減		1998年度比20%減
3	事業所等での再生製品等の使用	グリーン購入の実施		100%
		再生紙の使用推進		100%
		プリンタトナーカートリッジの再生利用		100%
		充電池等の利用		100%
4	環境負荷の少ない資源、材料、燃料の選択	廃棄の際の環境影響を配慮した材料の選定	梱包用発泡スチロールの削減	全廃
5	自動車対策	マイカー通勤の抑制		抑制指導
		積載量の適正化		全車両
		エコドライブ・アイドリングストップの推進		徹底
		低公害・省エネルギーな自動車への転換		買替え時全車転換
6	フロン等排出の抑制	代替物資への転換、特定フロン非使用設備導入		全量
		業務用エアコンの定期点検実施		自主点検、定期点検実施
		特定フロン使用機器の適正廃棄		フロン回収の徹底
7	環境に配慮した施設整備	緑地の整備		敷地の25%以上
		光害の抑制		夜間照明の抑制
8	従業員教育	エネルギー管理者資格		随時
		環境に関する教育		全社員1回/年
9	地域社会への参画	事業所周辺の清掃活動		年1回実施
		地域の環境保全活動への社員派遣		1人/月
10	環境管理システムの充実	ISO14001システムの活性化		全事業所
		内部監査の実施		1回/年